

High♥Line Wakabayashi はいらいん若林

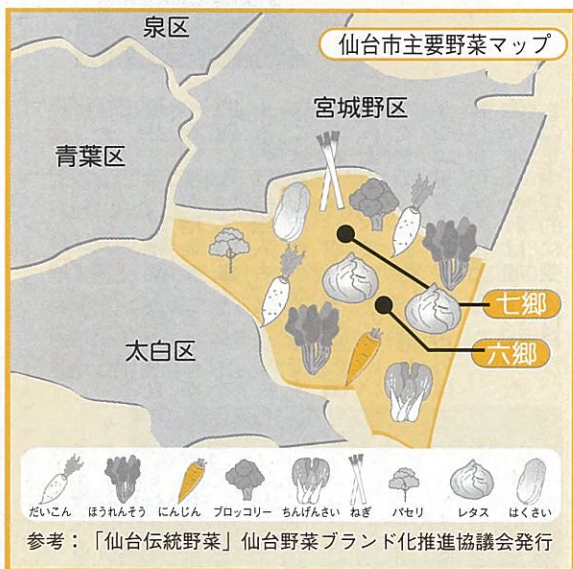
みんなてここさ

入らいん!

若林区まちづくり協議会会報

2007.2.1

Vol.10



お堀の水に育まれて

若林区を歩いていると、川や堀や、昔は堀があったと思われる場所を、いろいろな所で見つけることができます。その代表格として挙げられるのは、七郷堀、そして刑務所の周りを通って流れていく六郷堀でしょうか。

その水は市内を西から東へと、うねりながら流れる広瀬川の、愛宕堰から取り入れられ、若林区内の水路を駆けめぐります。愛宕堰から程なく土樋の辺りで二つに分れる七郷堀と六郷堀。これらの堀はいくつもの支流を持ち、東に広がる広大な田や畑の重要な水源となっています。

豊かな「水」に支えられた

「農」のまち・若林区

この一帯で収穫される米や野菜や魚貝類、更には、それらを加工してできる食産物は私達の命を育んでくれます。一方で、水辺にある公園では、散歩する人、スポーツをする人、草花を眺めて自然を感じる人などが集まり、体や心をリフレッシュさせています。

また、若林城(現宮城刑務所)が晩年の伊達政宗の隠居所として創建されたことを思えば、刑務所の周りの堀は居城を守るといふ大切な役割を果たしてきたことになりました。

『水』は、まさに私達の心身を育て、守り、生活を支えてきてくれたといえるのではないのでしょうか。

安心でおいしい「野菜」が自慢です

さて、若林区のすばらしい農業への取り組みに目を向けてみましょう。

「作り手の顔が見える安心な食材を味わってもらいたい」という趣旨の下に新しい農業に取り組んでいる人々がいます。

例えば、減農薬栽培で野菜を作る人、生産者と消費者が契約を結び、米や野菜を宅配する人。週に何回か

地場野菜が一堂に「ふれあい朝市」

スーパーのコーナーに、生産者の名前入りで出荷する人。自家製の食材だけで食事を作り、食べさせてくれるお店を経営する人。と、「農」のまちと呼ぶにふさわしい取り組みが根付きつつあります。

そんな地元の新鮮な野菜を気軽に食べてもらおうという試みがあります。

区役所駐車場で五月から十二月までの第二・第四土曜日に、朝六時から八時まで採れたて新鮮野菜や手作り漬物などを販売しています。

(佐々木 智子記)



会報の愛称

「はいらいん若林」とは

仙台弁の「入らいん(お入りください)」に英語のhigh(ハイ・高い)とline(ライン・路線、進路などの意)とをかきあわせた造語です。温かさより高いレベルをめざそうという気持ちが込められています。

子供の食事のこと。

はいらいん座談会

一緒に考えませんか？

『食事はおなかを満たすだけのものではなく、私達の生活の中で、より重要な役割を担っているのではないか』という意見が編集委員の中から出てきました。そこで、『食育』について編集委員以外みなさんのご意見をお聞きしたい、ということになり、座談会を企画しました。【勝又、西條、菅井、佐々木、武内=編集委員】



高橋 政志さん (50歳代)
以前は日本料理店を経営。平成16年から保育園を運営している。



長門 正美さん (40歳代)
行政相談員。蓮坊小学校のPTA副会長を務める。



永井 美香さん (30歳代)
南材木町児童館子育て支援クラブ会長を務める。

学校での取り組み

★東六郷小学校★

「話題や雰囲気づくりなどに気をつけ、異学年で交流しながら楽しく食事をすることにより、好ましい食習慣と人間関係をつくるきっかけとする」として、年3回「なかよし給食」を実施している東六郷小学校。児童全員が互いに名前を知っている、親の顔も分かるという学校で、更に親交を深めるためのランチ会です。くろしおホールで、異学年でテーブルを囲みにぎやかな昼食会。2月に実施されるランチ会では、併設されている幼児学園の園児達も招待してみんなで食べます。「一緒に食べると食が進む」とうれしい話も。「兄弟みたいで楽しい」と好評です。

★八軒中学校★

八軒中学校では、給食時はグループでテーブルクロスを敷いて食べています。授業を終え、これから食事をすすめるという雰囲気づくり、班を和やかにするためです。机の上にそのまま食器を置くよりも清潔で温かみがあります。

給食は、仲間と楽しく食事をし、クラスの友達のことをよく理解できる時間にもなります。また、食材や給食を作ってくれる人への感謝や思いやりの心を育てたいという思いがあります。



▲八軒中学校の給食の様子。テーブルクロスを敷いて食べます。

給食センターでは

学校給食センターでは、学校給食が食に関する指導の教材となるよう毎日の献立づくりを工夫し、その献立を通して食に関する指導ができるよう心がけています。指導のねらいは、食事の重要性を知り、心身の自己管理能力や食品の選択能力を身に付け、感謝の心や社会性を養い、地域の食文化や歴史を尊重する心を育むことです。

指導の方法としては、栄養士が学校へ出向き、教科や学級活動における授業を担任教諭とともに進行のほか、その日の献立についての説明を書いた資料、校内放送用資料、給食日より献立表・盛り付け表などを対象校へ配布し、学校での指導の手助けとなるような資料の提供などしています。



お話／太白区学校給食センター 管理栄養士 早坂 典子さん

菅井 私たちから見ると、食べてもらうやりかたで、西條 食へのこだわりは心のゆとりなのでしょうね。心のゆとりがあればある意味で食事につながるということ。

高橋 うちの給食は完全に「おなかを満たすだけ」です。去年の朝ごはんは、西條 朝ごはんは味噌汁と、たまにはパン食とか洋食もいなくともいいですね。ごはんにはこだわっています。

菅井 私たちから見ると、食べてもらうやりかたで、西條 食へのこだわりは心のゆとりなのでしょうね。心のゆとりがあればある意味で食事につながるということ。

高橋 うちの給食は完全に「おなかを満たすだけ」です。去年の朝ごはんは、西條 朝ごはんは味噌汁と、たまにはパン食とか洋食もいなくともいいですね。ごはんにはこだわっています。

高橋 うちの給食は完全に「おなかを満たすだけ」です。去年の朝ごはんは、西條 朝ごはんは味噌汁と、たまにはパン食とか洋食もいなくともいいですね。ごはんにはこだわっています。



(まどめ 菅井 てるお)

※この座談会は平成18年11月に行われたものです。

「好き嫌いの解消は正しい食習慣から」

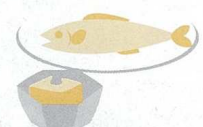
永井 今、幼稚園で給食を食べない子が増えていることが問題になっています。クラス十人のうち四人も、給食で白ごはんしか食べないんです。うちの子は、辛い離乳食の頃からよく食べているのでいいのですが、好き嫌いが激しい子やお母さんの手作り以外は食べない子もいます。佐々木 それは他人の作ったものを生理的に受け付けないの、調理された食事に慣れていないから分らないのかもしれませんが、初めに聞いたのでびっくりしました。偏った食事は、健康にも影響を与えますし、大人になっても困ると思います。

高橋 小さい子は保育園に入園したとき、百パーセント好き嫌いがありません。でも、三ヶ月ほどでほとんどの子が食べられないようになりますよ。食べられない子のための配慮「食」というものがありまして、例えばピーマンは千切りして醤油だけでいためるなど、食べられないものの形をどんどん変えていくんです。ちょっとした工夫で、好き嫌いはなくなると思います。

大切なのは家族で「揺る」食事」

長門 家族六人三世代で食事をしています。健康面から、野菜が多く子供が食べにくい時もあります。ですので土日は子供たちの好きなもの、肉などを調理します。

武内 私は三人兄弟ですから、奪い合って食べていました。食事の時間は、みんな楽しんで食べていた印象が強いですが、兄弟がいて良かったと思います。高橋 職業柄先生たちが八時半頃に帰りますので、食事はほぼ家族全員で九時頃にとりまわります。外で食べると場合によっては連絡を忘れますから。たまに連絡を忘れずと家中から非難です。うちが「食い物に文句付けたいところですね」といっているのが家訓です。最近若いお父さんも子育てをしていますが、料理する姿を見せると、自然と子供も自分で作るようになります。うちで小学校高学年から家事を当番制にしました。永井 うちは五歳の子供がリビングで遊んでいて、料理の匂いと醤油、味噌、ダシを味見させます。佐々木 子供はお母さんの接し方で物事に対する興味が養われるのですね。すこいことだと思います。



地域の イベント仕掛人紹介 春らんまん実行委員会



▲ステージイベント（すずめ踊り）



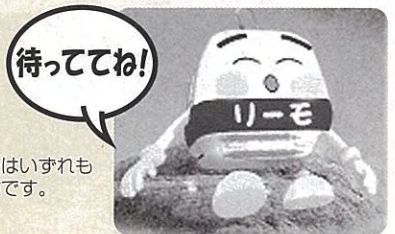
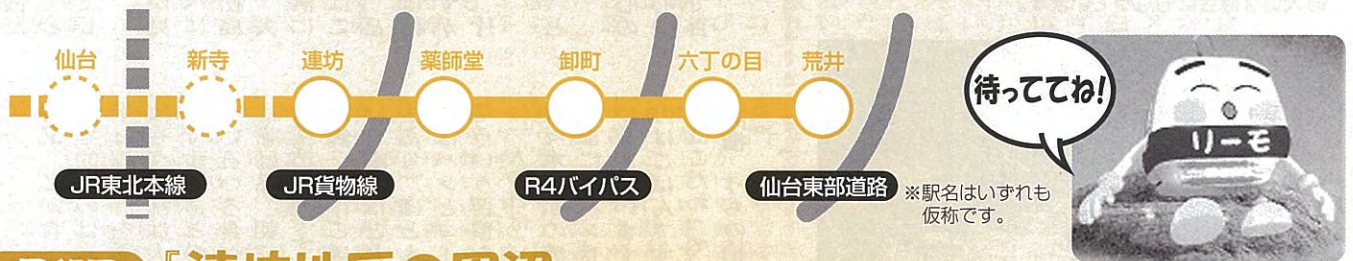
▲当日はたくさんの人でにぎわう

国分寺薬師堂の桜まつりが、平成十六年から「春らんまん」と名称を変えたことをご存知ですか？
四月の第三日曜日、「あゝまど」も楽しいイベント“を取りそろえ、地域の商店会・町内会からなる実行委員会がみなさんをお待ちしています。参加者の少なかった開会式を盛り上げる「紅白もちまき」。グループ活動の発表の場として参加してもらい、昼食代のチケットで出店の売り上げアップへ。ぬりえを小学校・幼稚園の子に作成してもらい展示、お礼は百円のチケット。人気は閉会式の前のビンゴゲーム。一枚二百円のカードで参加、上がった人から舞台の商品を選ぶ、更に一萬円の旅行券が三名に当たる。企画から一般の人も参加してもらい、子供、親、祖母に楽しんでもらう、例年通りにならないようにしていきたいという。実行委員の一人、石堂さんは、「先輩達がやってきたものを、苦勞しても継続していきたい。グループ活動でいろいろな人に会えるのが一番うれしく話す。」（本多 やゑ子記）

みんなで考える『地下鉄東西線のくるまち』まちづくり

平成27年開業予定 3回シリーズ

若林区を東西につなぐ架け橋です。有効な活用ができるように、まちづくりの観点で考えてみませんか。



※駅名はいずれも仮称です。

最終回 『連坊地区の周辺』

●連坊地区周辺●連坊・荒町の両商店街をより活性化し、寺と高校という生活に密着した施設を活用しレベルの高い、住宅街を形成していきます。



まちの過去：元茶畑という地名が残るように、昔は畑や寺町が形成されていたようです。仙台一高がこの地に校舎を構え、後に宮城二女高も連坊小路五橋側に設置され、下駄の音が鳴り響く学生が多い街でした。そして周辺は戸建て住宅が増えていきました。

まちの現在：南側は仙台一高、西側は連坊商店街・宮城二女高、南西側に荒町商店街、北側は住宅と寺、東側は薬師堂につながる戸建ての多い住宅地となっています。

まちの未来：商店街・学校は今と同じに、近隣住民にサービスを提供していくと思います。生活の利便性の向上から中高層の住宅地として再編成されていく可能性もあります。いずれにしろ、現在より密度の高い土地利用が期待できます。

平成18年10月15日(日)に開かれた区民まつりに地下鉄コーナーが設置されました。



仙台市の東西線関係課による、地下鉄東西線に関する展示・工作・塗り絵(地下鉄)のコーナーと、区民まつり実行委員会主催の地下鉄夢プランお絵かき大会コーナーが開催され、両コーナーともたくさんの親子でにぎわいました。

お絵かきコーナーでは、たくさんの子供達が自分達が住むまちへの夢を絵に残してくれました。この夢が、楽しい夢の実現となるよう、大人も一緒に地下鉄東西線を考えてみてはいかがでしょうか。

※詳しくは仙台市のホームページで<http://www.city.sendai.jp/toshi/touzaisenchousei/gaiyou/index.html>

西條 芳郎 記

若林区まちづくり協議会

..... 事務局

若林区役所まちづくり推進課

〒984-8601 若林区保春院前丁3-1

TEL 282-1111

会報プロジェクトメンバー

リーダー 勝 又 久 雄
西 條 芳 郎
菅 井 てる み
本 多 や ゑ 子
佐 々 木 智

編集後記

編集委員の話し合いの中で、最近の通学途中での事故の件、児童生徒の情緒が不安定になりやすい、子育て、家庭でのしつけ、いじめの問題などが話題に上り、今回は食育の面から掘り下げてみましょうということになりました。広く、いろいろな会で活躍している方々に集まっただき座談会を開きました。お忙しいところありがとうございました。これからも皆様のご協力をお願いいたします。(勝又)